

## 移情閣(孫文記念館)友の会30周年記念フォーラムで 県商生が中国語のスピーチを披露しました。

- ◇ 開催日時 平成26年12月20日(日) 13時半～
- ◇ 会 場 舞子ビラ『あじさいホール』



中国語スピーチの県商生・澤田さんと西田さん

県商には100年を超える中国語講座の歴史があり、その伝統を受け継いで現在の県商生は明照紀子先生指導のもとで2年生の4月から週2回、中国語を受講しており、この日は2年生2名が流暢な中国語のスピーチで日頃の成果を披露してくれました。

来賓の北京大学教授をはじめ、中国からの留学生や中国と親交の深い日本の皆さんを前に堂々とスピーチする後輩達の姿をととても誇らしく思いました。良く頑張りました、有難う。



講演 加藤 千洋 氏



モンゴル民謡と舞踊

《解説》 移情閣(孫文記念館)友の会30周年  
友の会は1984年孫文記念館開館の際に、県、市民の手により記念館活動を支えるべく設立されました。移情閣の存在を広く内外に広め、中国建立の父であり神戸に縁の深い孫文の偉業を学び、移情閣を拠点に日中文化交流を市民段階で展開し、日本と中国、国際間での文化交流を通じて会員相互の親睦をはかることを目的に結成されましたが、戦時中の県商生の仮校舎して使われた六角堂(移情閣)は県商の歴史を語る上で大変貴重な建物であります。